

鹿屋

KANOYA

2月8日、第14回国際高校生選抜書展の団体の部で優勝を果たした鹿屋高校書道部の生徒が、市役所を訪れました。

同書展は、「書の甲子園」と呼ばれ、書を学ぶ高校生が目標となっている大会で、日本をはじめとする21の国と地域から13,610点の応募があり、この中から入賞・入選作品2,167点が選ばれました。

作品を仕上げるために2泊3日の校内合宿も行った鹿屋高校書道部は、部員20人中、入賞が3人、入選が12人という好成績を収め、入賞・入選者の数に応じた総合点で競われる団体の部で、昨年の準優勝に続き、今年はずいに優勝を達成。また、個人の部でも樋高雄将さん（1年）が最高賞の文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

この快挙達成に同部のキャプテンを務める久木田舞子さん（2年）は、「夢のようです。これからも頑張っていきたいです」と喜びを語ってくれました。



文部科学大臣奨励賞を受賞した樋高雄将さんの作品

書道の国際大会優勝を報告



鹿屋高校書道部の文字が刻まれた総重量約11kgの純銀製の優勝杯



鹿屋

KANOYA



産学官連携で健康イスを開発

2月15日、産学官連携で開発した「かのや健康イス」が発表されました。

このイスは、間伐材を利用し地産地消に貢献しようと、昨年8月から大隅家具共同組合と鹿屋体育大学等が共同開発したものです。運動用の機能が加えられており、腕や足の筋肉を鍛えられるように工夫されており、今後は試作品を高齢者施設に展示して、利用者の意見を聴きながら改良に取り組む予定です。

吾平

AIRA

福祉レクリエーションを学ぶ



2月21日、誰もが安心して生活できる地域福祉の輪を広げようと「ボランティア入門1日講座」（鹿屋市社会福祉協議会吾平支所主催）が湯遊ランドで開催されました。

講座には地域のために活動したいと意欲のある方々約50人が参加。お手玉やおはじきを使った福祉レクリエーションでは、「こんなに笑ったのは久しぶり。ふれあいサロンなどで、早速実践してみたい」と意欲的に話していました。

鹿屋

KANOYA

チョコットの油断が事故のもと



2月14日、鹿屋女子高等学校の正門前で、「バレンタインデー交通安全作戦」（鹿屋市交通安全協会主催）が行われました。

交通安全作戦には、同校の交通安全委員など32人が参加。同校の正門前で、「安全運転をお願いします」と声をかけながら、500個のチョコレートと、「チョコットの油断が事故のもと」と書かれたチラシを、ドライバーに手渡しました。

申良

鹿児島県無形民俗文化財指定

KUSHIRA

山宮神社春祭りに伴う芸能

2月19日、申良町細山田の山宮神社で春祭りが開催され、県の無形民俗文化財に指定されている正月踊り（棒踊り）、かぎ引き、田打などの芸能が奉納されました。



かぎ引き

サクラやエノキなどの雄かぎ（かぎ状の木）と雌かぎ（二股になった木）を絡ませて、神社周辺の堂園、馬掛、生栗須の3町内会と立小野、高松、平瀬の3町内会が引き合います。2度勝った方が豊作になるといい、引き分けの場合は双方が豊作になるといわれています。



田打

太郎と次郎に扮した神官が、木製の牛を引ながらユーモアを交えて田をならす動作をします。

正月踊り（棒踊り）

町内会ごとに1組6人で、2組から3組が一緒になって、三尺棒（堂園、生栗須）や六尺棒（馬掛）で、打ち合いながら踊ります。



堂園



馬掛



生栗須

吾平

AIRA

家庭教育について考える



2月3日、湯遊ランドで、家庭教育について考える鹿屋市吾平地区家庭教育講演会（吾平町道徳振興会・吾平町PTA連絡協議会主催）が開催されました。

講演会では、全国各地で年間400回の講演をこなすという大分県佐伯市観光係長の矢野大和氏が「たくましく育てるために」と題して講演。ユーモアたっぷりの話しぶりに、会場は終始笑いに包まれていました。

鹿屋

KANOYA

生涯学習の成果を披露



2月19日、市文化会館で平成17年度鹿屋市生涯学習大会・かのや男女共同参画社会づくり講演会が開催されました。

当日は、鹿屋地区内の公民館や学習センターなどで活動する14団体が舞踊や詩吟などの舞台発表を行ったほか、社会教育功労者2人と優良社会教育関係団体3団体を表彰。その後、行われた女優の倍賞千恵子さんによる「歌うこと、演じること、そして生きること」と題した男女共同参画社会づくり講演会では、映画の裏話や歌を交えながらの話に、会場を訪れた約850人が熱心に聞き入っていました。

また、2月15日から19日まで市中央公民館で、各地区学習センター等の講座生による作品の展示発表が行われました。



倍賞千恵子さん